



摂南大生がすさみ町を元気にする7回目の夏 小学生62人が参加するキャンプを実施・柱松祭り実施をサポート

「大学のふるさと」協定を締結しているすさみ町と摂南大生の活動の一つ、「忍者キャンプ・自然体験型夏休み工作教室」を今夏も開催します。摂南大生が大阪とすさみ町の子どもたちと4日間、山間部の廃校となった小学校で共同生活を行います。夏休み工作教室や忍者修行(昔遊び・川遊び・人間関係構築トレーニング)、キャンプファイヤーなどの活動を行い、児童の主体性や協調性、コミュニケーション能力等をはぐくみます。

また、復活した佐本川柱松祭りにも参加、地域文化の継承と活性化の一助を担います。

活動期間：平成28年8月17日(水)午後現地入り～20日(土)午前現地出発・帰阪
※佐本川柱松祭りは8月18日(木)実施予定(少雨決行)

活動場所：和歌山県西牟婁郡すさみ町内の「旧佐本小学校体育館・グラウンド」

実施団体：摂南大学ボランティア・スタッフズ(文系クラブ)はじめ学生40人と指導教員

参加児童：摂南大学連携協定先の寝屋川市をはじめ、交野市、門真市のほか、
地元すさみ町からの参加を含む合計62人(過去最高)



写真：工作教室(竹ランタンづくり)の様子



写真：地元住民と柱松祭りの準備の様子

■□ 滞在中の主なスケジュール(予定) □■

8月17日(水)～20日(土) 忍者キャンプ・自然体験型夏休み工作教室(4日間実施)

8月18日(木) 16:00～ 佐本川柱松祭り、住民への音楽会開催

(「忍者キャンプ・自然体験型夏休み工作教室」事業は、寝屋川市公益活動支援公募補助金を受けています)

■ 『佐本川柱松祭り』について ■

すさみ町佐本地域で220年以上続く無病息災を願う伝統の盆行事です。高齢化や過疎化などにより休止されていましたが、2012年、同町と地域活性化活動を進めていた摂南大生が、地元住民の指導を受けて松明づくりや柱立てなどの復活に協力し、以降毎年参画しています。

担当	県	すさみ町	摂南大学
	過疎対策課 畑田、岩橋	地域未来課 水上	地域連携センター 小出、大島
電話	073-441-2930(内線2930)	0739-55-4801	072-829-0385